

12月の園だより

幼保小連携(幼稚園・保育園・小学校連携)

富士山の初冠雪が10月23日でした。平年より遅いということですが、暑さが続いていたので雪が降って少し寒さを感じました。その日、5歳児は西小学校交流に行きました。ここ数年、幼保小連携と言ってこども園と小学校との連携を強めていきたいと思いますと言われていました。こども園は「遊び」を基本にしていますが、小学校は「義務教育」になり教科があり勉強をします。こども園と小学校では生活が大きく変わりますが、知らないと不安になるので、まず小学校がどんなところか知るように、昨年より学区である西小学校と交流を始めています。年4回の予定で今回は3回目。見学だけでなく1年生が何をするか考えてくれて、今回は一緒に鬼ごっこなどしました。校庭は広くてたくさん走り、1年生とも自然に親しく過ごす姿が見られました。西小学校は少人数なのでみんなで迎えてくれる温かい雰囲気があります。年長児も小学校ってこんなところだった、勉強していたなどお家に帰っても話しができているようです。大人も子どもも知ることで少しでも安心できたらいいなと思っています。



内科検診・歯科検診

谷口内科医院の谷口先生、野中歯科の鈴木先生にみていただきました。いつもはおしゃべりな子どもも真剣な表情でした。

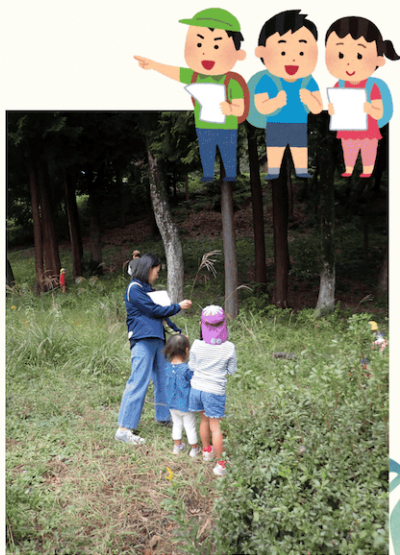
歯は毎日の仕上げ磨きが大切ですので忙しいとは思いますがお願いします。虫歯があった子は早めに治療に行きましょうね。



白尾山親子遠足

歩くのにちょうどよい日になり、気持ちよく歩いていくことができました。子どもたちは元気でしたが、日頃お仕事のお父さんお母さんは良い運動になったと思います。わらべうたや走りっこ、幼児は運動会でできなかった背中ってあったかいのおんぶをしました。それぞれ家族や友達とお弁当を食べ、秋の一日を過ごしました。

歩いて園まで帰ってきたみんなが笑顔で、楽しめたのが伝わってきました。



さつま芋堀り

園庭の畑に植えたさつま芋を掘りました。葉っぱがたくさん茂って「ひっばれー」とみんなでつるを引っ張りました。力を込めてつるを引っ張っていると、つるが切れ抜けるのと同時に尻もちをついていました。土の中を掘るとさつま芋が出てきて「あったー」とうれしい声が出ていました。

幼児クラスは10.6キロ、乳児は9キロの収穫でした。炊飯ジャーにお芋を入れ水を少し(芋が3/1つかる位)入れ、ご飯を炊くようにスイッチオン。炊けるのを待って出来上がりです。簡単で美味しいお芋が茹で上がりました。

柿 かなり瓜 大根葉の収穫もしてみんなよくたべていました。



大中里区祭り

富士宮まつり-秋宮-で大中里区も山車（だし）の引廻しに参加ということで、大中里こども園にも来てくれました。いつもより少し早めにみんな登園し、園庭で待ちました。お囃子の音が近づいてくると子どもたちは門にくっつくようにして見ていました。門を開け園庭で踊りを一緒にし、山車の前で写真を撮りました。山車を触らせてもらえるのが嬉しくて「すごいね!」と感心しきりでした。この触らせてもらえるというのがよく、子ども時代には大切で、実感として物を知ることになると見ていて思いました。



だしの話し

うまいもののあっこちゃんが幼児クラスでだしの話しをしてくれました。大中里こども園では昆布とかつお節でだしをとっています。昆布だしの味、かつお節だしの味、しょうゆを入れた汁の味とそれぞれを確かめ、その後組み合わせての汁の味見をしていました。一つひとつではかつお節やしょうゆの香りがするのですが美味しさはなく、なかなか飲みきれない感じでした。でも全部が合わさった汁になると「あっ！ いつもと同じだ。」「美味しい」と感想が聞かれました。いつも美味しいお汁を飲んでいることがわかりました。

